

設計基礎 A

04

[担当教員]

楢橋修（准教授）高麗憲志（技術職員）

[Teaching Assistant]

大西怜（A66）、青山貴哉（A66）、米倉良輔（A66）

建築をデザインする上で必要となる基礎的な造形力を獲得することを目的とし、立体造形制作を通じて、構成力や造形力を習得するとともに、形態や色彩感覚、素材の質感、スケール感覚、平面と立体との関係などの空間造形感覚をそれらを表現する能力を養う。

実習は3グループに分かれて行い、各回テーマを持って実習に取り組む。中間講評を挟んで大きく2つの課題制作を行い、スタディーからプレゼンテーションまでのスキルを身につける。

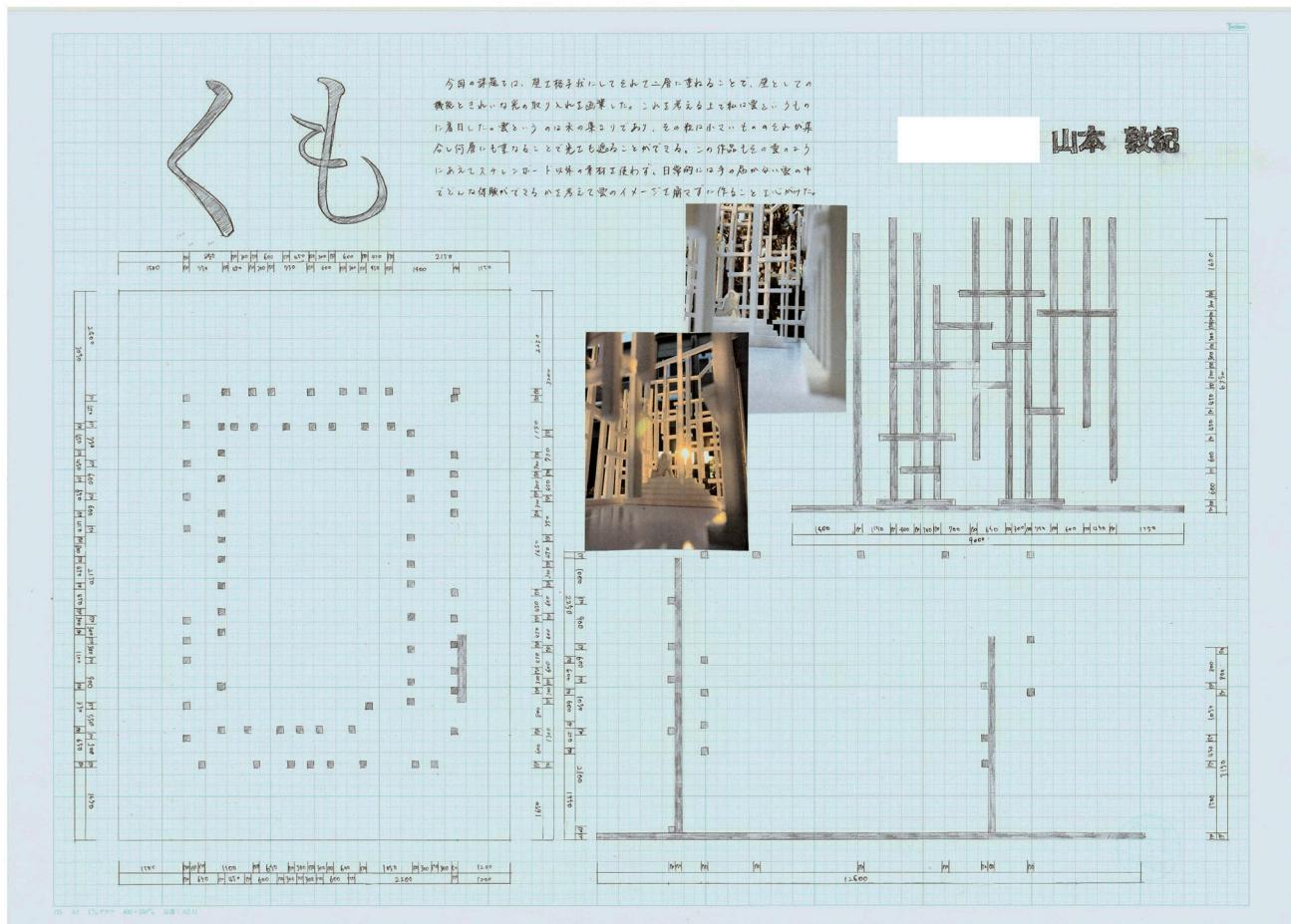


■課題概要

設計の基礎を学ぶ初学者に分かりやすいように講義と実習を適宜取り混ぜながら行う。課題は中間講評を挟んで前半(実習7コマ)と後半(実習5コマ)から構成する。前半では段階を踏んで模型製作とスタディーのプロセスを学び、後半では前半のスタディーを踏まえ、より自由な建築表現の方法を学ぶ。

パート1 (3限)	パート2 (4限)
1-1 ガイダンス	1-2 座席指定、道具の使い方
2-1 箱を作る	2-2 穴をあける
3-1 スケールと配置を考える	3-2 光の空間を考える
4-1 空間を表す1 (プレゼン)	4-2 提出1 (A2 サイズ)
5-1 中間講評と後半課題説明	5-2 再び箱を作る
6-1 光の効果と空間体験	6-2 マテリアルを考える
7-1 空間を表す2 (プレゼン)	7-2 提出2 (A2 サイズ)
8-1 講評会	

山本敦紀「空間を表す2」



設計基礎 A

13

特別演習『夢見る空間をつくろう。自分だけの。』

開講年次：学部1回生 前期

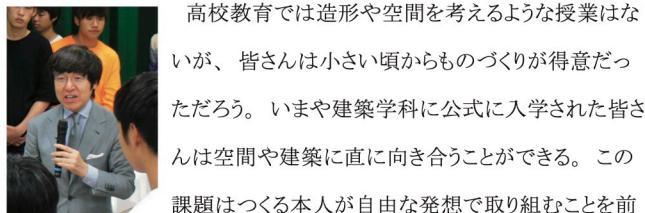
[担当教員]

大谷弘明（神戸大学客員教授／日建設計執行役員）

遠藤秀平（教授）、榎橋修（准教授）

[補助]

高麗憲志（技術職員）



高校教育では造形や空間を考えるような授業はないが、皆さんは小さい頃からものづくりが得意だつただろう。いまや建築学科に公式に入学された皆さんには空間や建築に直に向き合うことができる。この課題はつくる本人が自由な発想で取り組むことを前提としている。この日の経験が今後の原体験となることは講評でも述べた。以下にいくつかの苦言（助言）を申し上げる。

5枚のケント紙が与えられれば、それを使い切るように工夫するという直感がはたらく必要がある。大学生となったからには、言われれば分かったのに、ではない。

周りにいる同期の80数人の製作中の動向をよく観察することも大事。みな同志でもあればライバルでもある。

いかにして集団の一群から抜け出るか（抜け駆けするか）、同じ時間と同じ材料を使ってどのような手段を尽くせばより効果的なのか、を考えてほしい。

競争というと、なにか悪い響きを感じるかもしれないが、多くの人たちの中から良いアイデアを引き出すためには避けては通れないのがコンペの宿命である。（大谷弘明）

■ 演習課題

みなさんが神戸大学工学部建築学科に入学されたことを喜ばしく思います。これから、いよいよ建築の専門教育を学ぶことができます。

みなさんは日頃、建物をどんなふうに見ていましたか。建築とは見るものではなく使うものであり、オブジェクトではありません。人間を取り巻くすべてが建築といつても過言ではありません。いわば空間の体験なのです。みなさんにはこれから、驚くべき未知の建築空間体験が待ちかまえているはずです。

今日は、みなさんと建築をつくるとはどういうことなのか、一緒に考えたいと思います。

考えるといつても頭で考えるのではありません。手を動かしながら考えてみましょう。

建築とはこれらの思考の結果です。

テーマ『美しい空間、自分だけの』

頭の中にあるいろんな空間イメージをもとに実際の立体造形にしてみましょう。

夢に出てきた美しい空間、体験してみたい空間。これを独力でつくりだしてください。

考えながら形にし、実際に組み上げて、出来上がりをまわりと比べ、感じて、批評しあう、これらのプロセスが大切です。

これらの活動すべてが建築的な「体験」の事始めになります。もしくは「原体験」となります。

・日 時 10月5日（金）3、4限（13:20～16:40）

・場 所 鶴甲第一キャンパスK棟 K401

・時間配分 事前の説明 13:20～13:30

製作時間（150分） 13:30～16:00

講評 16:00～16:40

・材料

目の前に用意されているケント紙、定規、はさみ、テープ、ホッチキスをつかいます。

*製作のスケールは自由です。人型の切り抜きをひとつつくり、自分のつくれた造形の中に配置しましょう。



学生作品



作品講評風景



作品制作風景